

ロザリオの聖母の祝日

2022



親愛なる姉妹の皆さま

ドミニコ会は、聖ドミニコから、そして常にロザリオの聖母への信心を広めてきた多くの兄弟姉妹からロザリオを受け継いでいます。

10月には特にロザリオの聖母に捧げられる月です。世界中の何百万人もの人々が、心の奥底に抱えているものを求め、あるいは感謝するためにこの祈りを捧げますが、それは聖母を自分たちに寄り添う母として信頼し感じているからです。

今日は聖母の祝日ですので、私たちはロザリオを祈ることにより特別に彼女のもとに駆け寄るのです。アヴェ・マリアを繰り返す中で、イエスという人物、その誕生、生涯、死、復活に焦点を当てます。ロザリオの五つの祈り、喜びの神秘、苦しみの神秘、栄えの神秘、そして光の神秘は、私たちの兄弟姉妹、友人、救い主であるイエスを中心に展開していますが、すべての神秘に何らかの形で聖母マリアの存在を見出すことができます。このため、何人かの教皇さまはこの「福音的な平凡な」祈りとその深いキリスト論的な方向性を強調しています。

聖ピオ十世の言葉を引用すると、「ロザリオはあらゆる祈りの中で最も美しく、最も恵みに富み、母なるマリアを最も喜ばせるものである。」

聖パウロ 6世は、「ロザリオの唱和には静かで内省的なリズムが必要であり、それは祈る者が、主に最も近かった彼女の心を通して見た主の生涯の神秘を黙想するのに有利である。」

聖ヨハネ・パウロ 2世は、「ロザリオは、シンプルでありながら、深みのある素晴らしい祈り、私の大好きな祈りである。」と語っています。ロザリオは、喜びの時も、苦しみの時も、私に寄り添ってくれました。私は多くの悩みを彼女に託し、いつも彼女に慰めてもらってきました。

ベネディクト 16世は、「神の母において、みことばによって完全に形づくられた存在を観想することにより、私たちも、キリストが私たちの生活の中に住まわれるようになる信仰の神秘に入るよう求められていると感じる。」と述べています。

(Verbum Domini 28)

教皇フランシスコは、「アヴェ・マリアを祈ることによって、私たちはイエスの生涯の中心的な瞬間を振り返るように導かれ、マリアと聖ヨセフのように、イエスが私たちの思い、関心、行為の中心になることができるようになる。」と説明しています。

この祈りによって、神に近づく効果的な、そして同時に優しい方法を、驚くべき言葉で表現した聖人の話はたくさんあります。

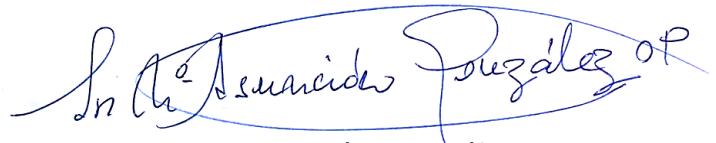
カルカッタの聖テレジアにとって、「マリアは私たちの母であり、私たちの喜びの源である。私は母親のマリアと話すのに苦労したことはなく、とても親しみを感じている。」

ピオ神父は、霊的な子供たちから「霊的な遺産を残してほしい」と頼まれたとき、何も考えずに「ロザリオ」と即答しました。

姉妹たち、私はあなた方がこのドミニコ的なロザリオの祈りを愛するだけでなく、この祈りの優れた伝達者であることを呼びかけたいと思います。

ロザリオの聖母の祝日が皆様にとって喜ばしいものとなりますようお祈りしています。

心からの抱擁と祈りを込めて。

A handwritten signature in blue ink, reading "Sor M^a Asunción González, O.P.", enclosed in a blue oval.

Sor M^a Asunción González, O.P.

Priora General